

6月1日に当事務所が所在する揖斐川町の最高気温が36.3度を観測し、群馬県館林市と並んで全国最高となりました。一方6月4日には名古屋地方気象台より、「東海地方が梅雨入りしたとみられます」との発表がありました。先週は前線を伴った低気圧を伴う前線の影響により、全国各地で激しい雨が観測されています。これからの季節、土砂災害や河川の増水、低い土地の浸水に十分注意する必要があります。

### 今年度第1回目の里山探検隊を実施

6月4日に、今年度第1回目の里山探検隊を実施しました。里山探検隊は、揖斐川上流域の山間部の暮らしや文化に直接触れながら、水源地保全や防災の大切さを理解していただく学習の場として毎年実施しており、今年は22名の方に参加していただいています。今回は「揖斐川筋における過去の土砂災害現場をたずね、土砂災害の恐ろしさを実地に体験すると共に、災害防止対策を学ぶ」をテーマに、八草川山腹工事、ナンノ谷大崩落地および、横山ダム等を見学しました。また、ワンド農園では昼食を兼ねて蕎麦打ち体験も行いました。全体を通して多数の方から質問をいただくなど、皆さん積極的に参加をされていました。実施後は「砂防堰堤について理解できた」「次回も楽しみです」等の感想をいただきました。



ナンノ谷大崩落地を見学



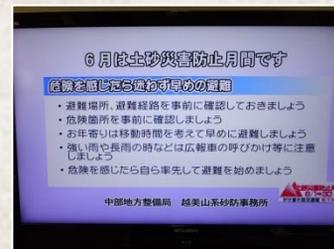
蕎麦打ち体験の参加者

### 土砂災害防止を呼びかけています

6月の土砂災害防止月間においては、様々な形で地域の方へ呼びかけを行っております。事務所および出張所では期間中、懸垂幕を掲示して、来訪者の目に留めています。また、本巢市や揖斐川町でも、役場、振興事務所等に懸垂幕やポスターを掲示、ケーブルテレビでの文字放送や防災無線での放送および、広報誌(6月号)への掲載等から可能な範囲でご協力をいただいております。梅雨に入り、地盤が緩み土砂災害の危険性が高まる事が予想されます。この機会に改めて災害への関心を持っていただき、日頃の備えに心掛けていただければと思います。



事務所の懸垂幕



文字放送の表示画面

### 砂防工事の安全技術向上に向けて

揖斐川上流域で砂防工事を行う建設会社で組織する「砂防工事安全技術協議会」が、6月5日に開催されました。当事務所の三浦副所長より、昨年度に中部地整管内の工事で発生した事故の状況やその特徴、今年度の工事事故防止のための中部地整の重点対策を説明し、現場条件が厳しい砂防工事の現場において、更なる安全管理体制の徹底し、事故を起こさない安全施工の推進をお願いしました。



安全施工の呼びかけ

### 再度災害の防止へ =地谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先の地谷(ちたに)に土石流の補正を目的とした、地谷第2砂防堰堤(堰堤高H=14.5m)を建設する工事を再開します。

堰堤設置位置の直上流で合流するギラ谷では、平成24年9月の台風16号により土石流が発生しました。流下した土砂と流木は下流の県道橋を閉塞し、後続流の氾濫により県道が通行止めとなったり、隣接する施設へ流れ込む被害が発生しました。本堰堤は同様の土砂災害が発生する事を防止します。

今年度の工事は主に副堰堤の工事を行います。施工は西建産業(株)が行います。



昨年度の工事完了状況

### 夜叉ヶ池 待ちに待った山開き

岐阜・福井の県境に位置する夜叉ヶ池が、6月1日に山開きを迎えました。快晴の中、早朝に登山口にて山開きの神事を行い、その後登山客が次々に夜叉ヶ池を目指して登り始めました。当事務所長も神事にて挨拶させていただき、数名の職員と共に残雪のある中での登山にも参加しました。



当日は多くの登山客も



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp](mailto:ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp)